

私の授業スタイルについて

社会におけるコンピュータの位置づけは？

授業の目的

- ・ 「情報」「情報処理」というものの理解
- ・ 「コンピュータ」「IT」の理解
- ・ 資格試験への対応(基礎知識の習得)

情報処理概論 I の授業予定

コンピュータでの情報の取扱い

- ・ どのように「情報」を扱うのか？

コンピュータそのものについて・動作原理について

- ・ 「情報」について
- ・ 特に「ハードウェア」面からの学習

⇔ 「ソフトウェア」 : これは後期の情報処理概論 II で学習

他の授業との関係について

- ・ 「コンピュータマスター フィールド」での基礎的な科目である
- ・ 他のフィールドに属する学生にとっても基礎的な学習となるでしょう

資格試験との関係について

この授業は、直接資格試験を目指す科目とは違います・・・

シスアドとは？
部門もしくはグループ内の情報化をエンドユーザの立場から推進する立場

関係する資格としては

- ・ 「初級シスアド試験」午前の試験
- ・ 「日本語文書処理技能」の常識試験

などがあります・・・ これらの、基礎的な知識・技術の習得(講義科目)

シスアドの資格試験に関係する科目は広いので・・・

- ・ コンピュータ・情報に関する知識(広く基礎的な知識) ← この情報処理概論の科目
- ・ アプリケーションソフトウェアに関する知識
- ・ データベースに関する知識
- ・ ネットワークに関する知識
- ・ 文書表現的な知識

十分考えて科目を履修しましょう！

← ガイダンス時の「フィールド」説明

この科目について確認しておきたいこと

- ・ **選択科目** である (⇔ 必修科目)
- ・ 講義科目である (⇔ 実習科目)
- ・ 基礎的科目 (⇔ 専門科目)

テキスト

→ テキストの手配について

パソコンの利用について

→ 実習科目ではありません・・・主に道具として利用します。

どちらかというと、鉛筆・消しゴム等の延長？

遊び道具、内職など、授業に無関係な利用が増えれば利用禁止もありえます

利用する教室

→ 電算棟

授業進行予定

- 1 私たちの身近なコンピュータ - 暮らしの中のコンピュータ
- 2 コンピュータの種類と特徴
- 3 コンピュータの歴史
- 4 コンピュータの仕組み - コンピュータ内の処理の流れ
- 5 基数・2進数・ビットバイト - 情報(量)を量る・情報の表現
- 6 コンピュータの構成 - ハードウェア
- 7 CPUとメインメモリ
- 8 補助記憶装置
- 9 周辺機器

情報に関する話題を取りあげながら授業を進めていく予定

毎回簡単な復習問題やまとめ課題を実施して理解度が高まるようにします

内容や学習順序は途中で変更する可能性があります

- ・・・毎回、十分予習をしてください
- ・・・知識を少しずつ積み重ねていくこと

授業の評価について

- ・ 定期試験
- ・ レポート・課題
- ・ 出席 ☆
- ・ 取り組み態度

↓

(経験者などについては・・・到達度・学習の伸び度をみる)

確認しておきたい事柄

- ・ 高校までに (or 予備知識として) どれくらい勉強して知識を持っているか理解しているのか？
つまり、コンピュータ利用の経験・度合い
- ・ あなたがコンピュータに対して持っている印象・イメージは
良い / 普通 / 悪い
- ・ この授業に対して何を (何か) 期待しているのか (ことは)？
- ・ 資格試験を目指していますか？